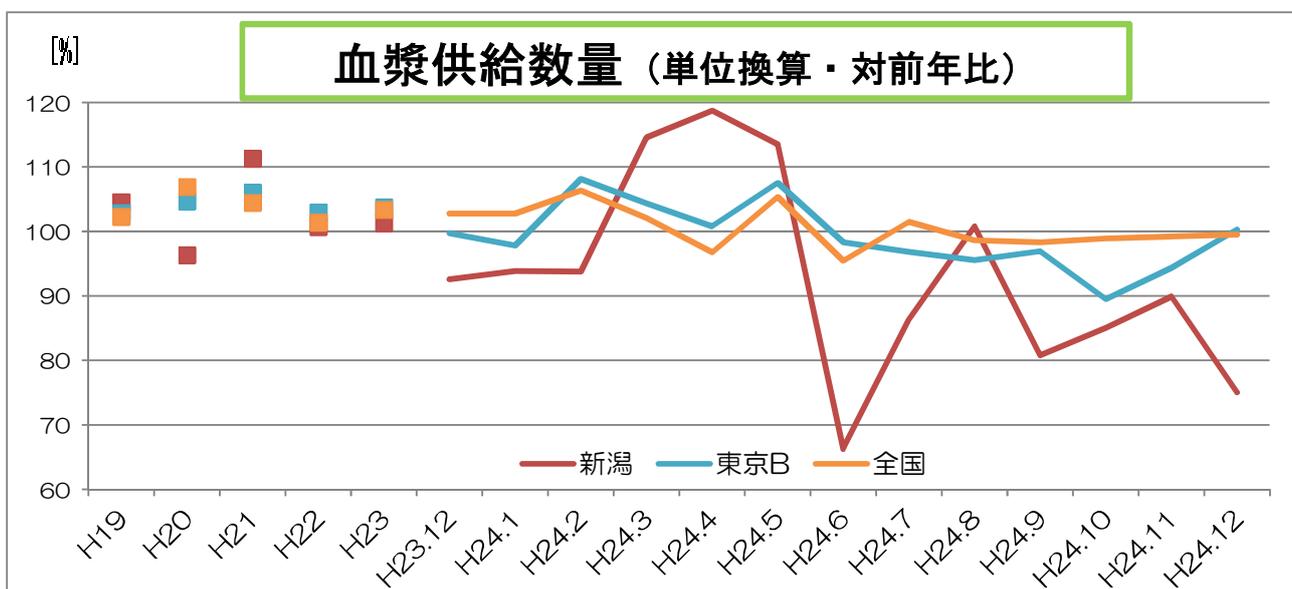
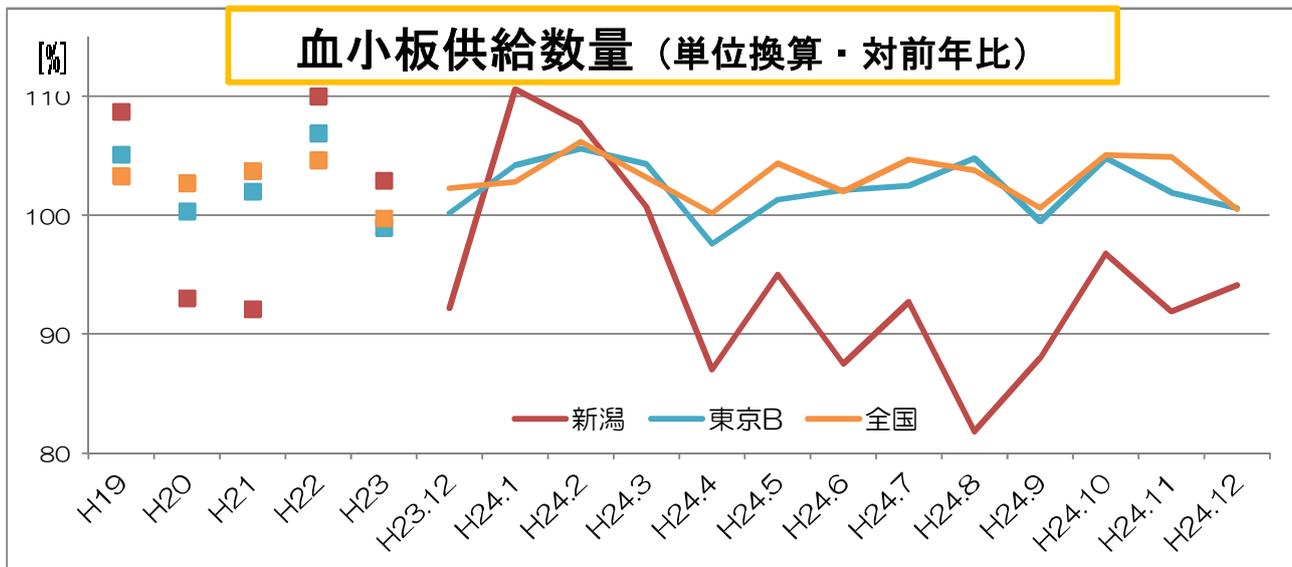
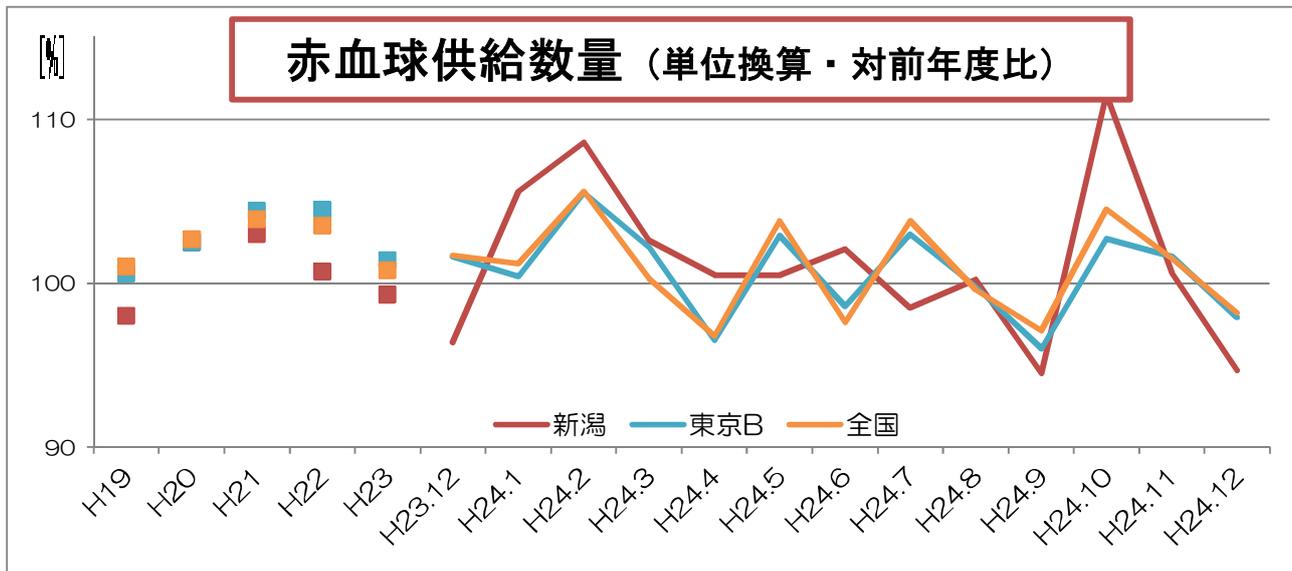
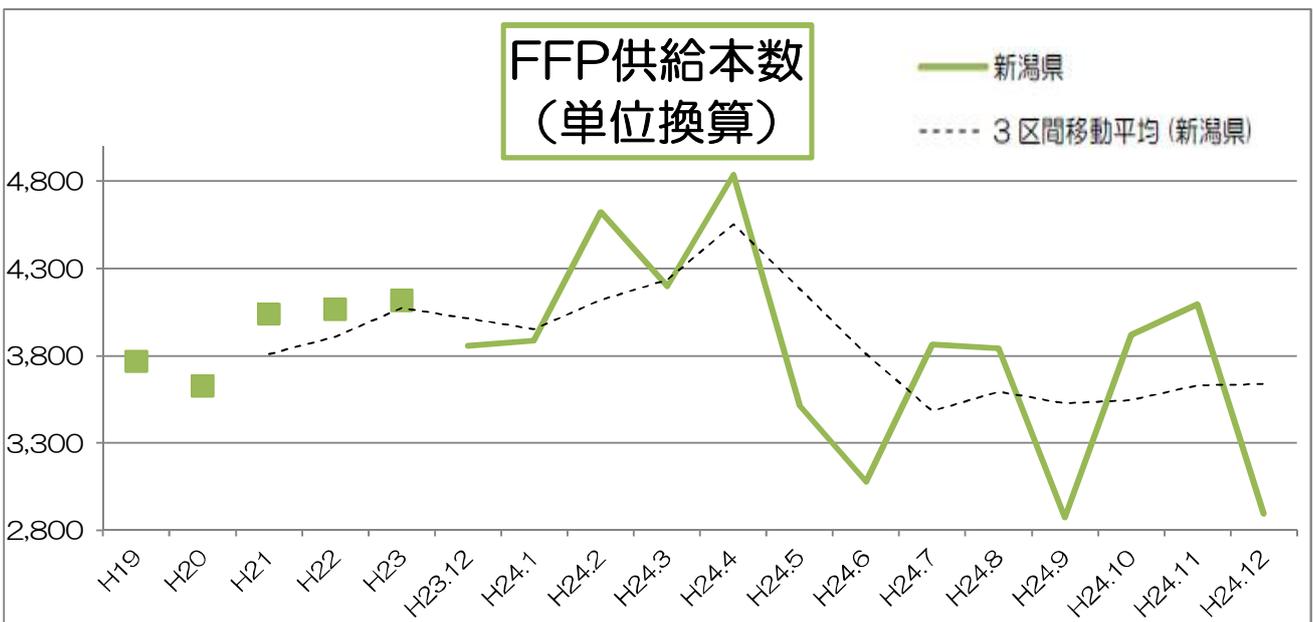
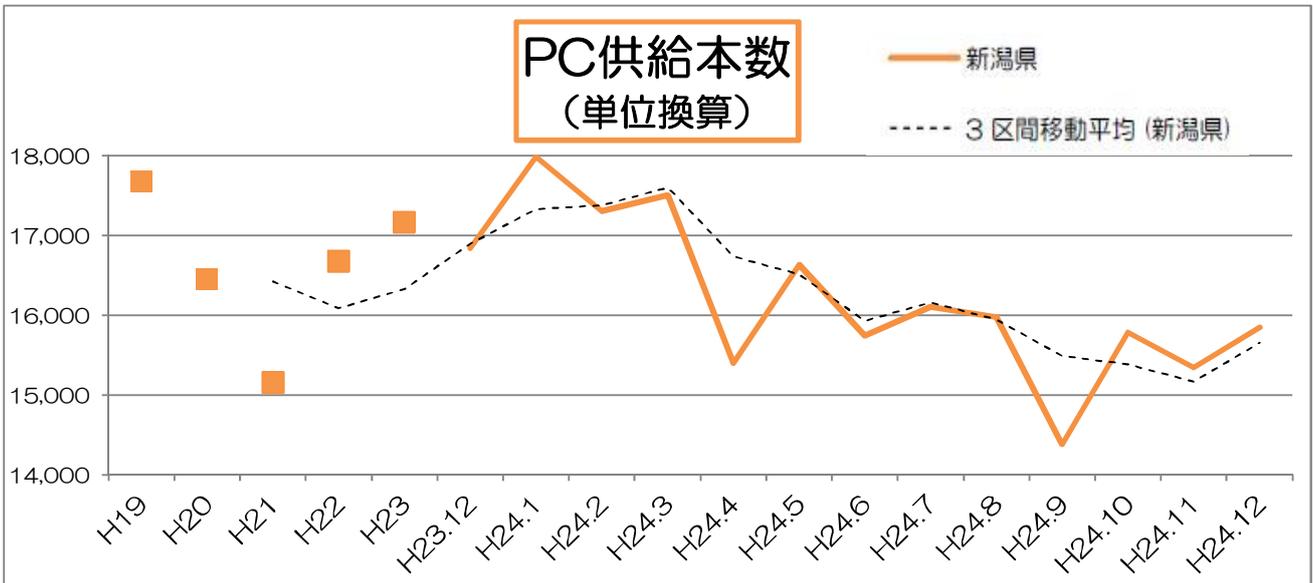
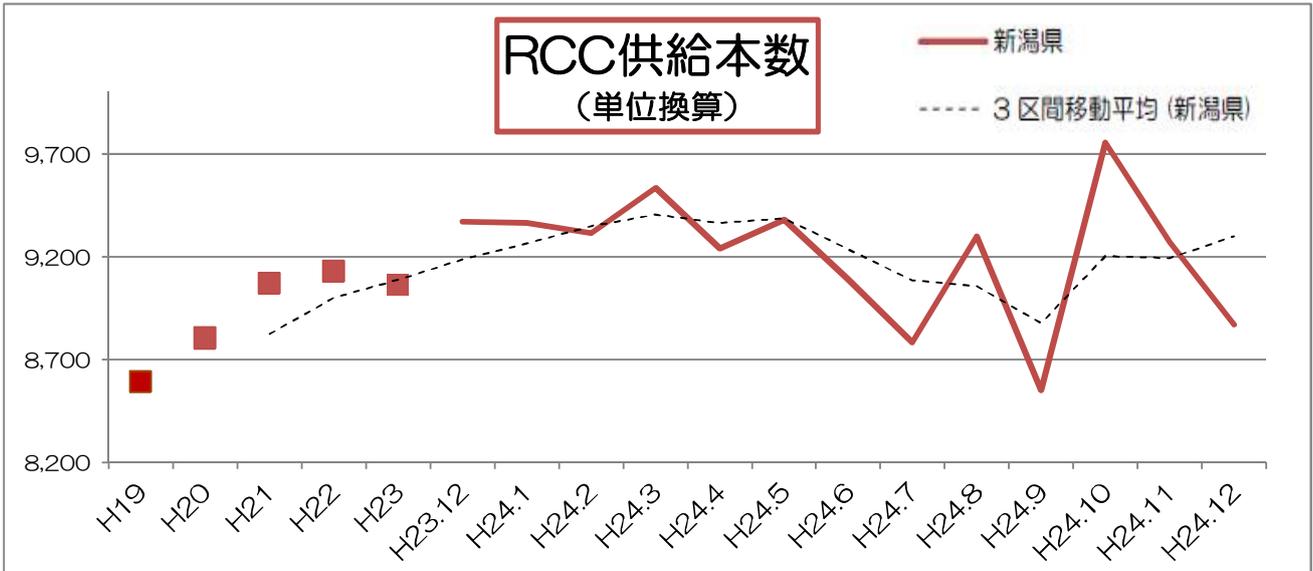


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。今月から過去 5 年(月平均供給本数)のデータ追加。





H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆12 月の特徴： 今月は「血漿製剤」の使用量減の 1 点に尽きる。原因は不明。規模別で見ると、前月に比べて A 施設が 65%、B 施設が 80%、D 施設が 63% と大幅な減少。診療科別では、内科での使用が今年最少量。赤血球製剤、血小板製剤に大きな変化はない。

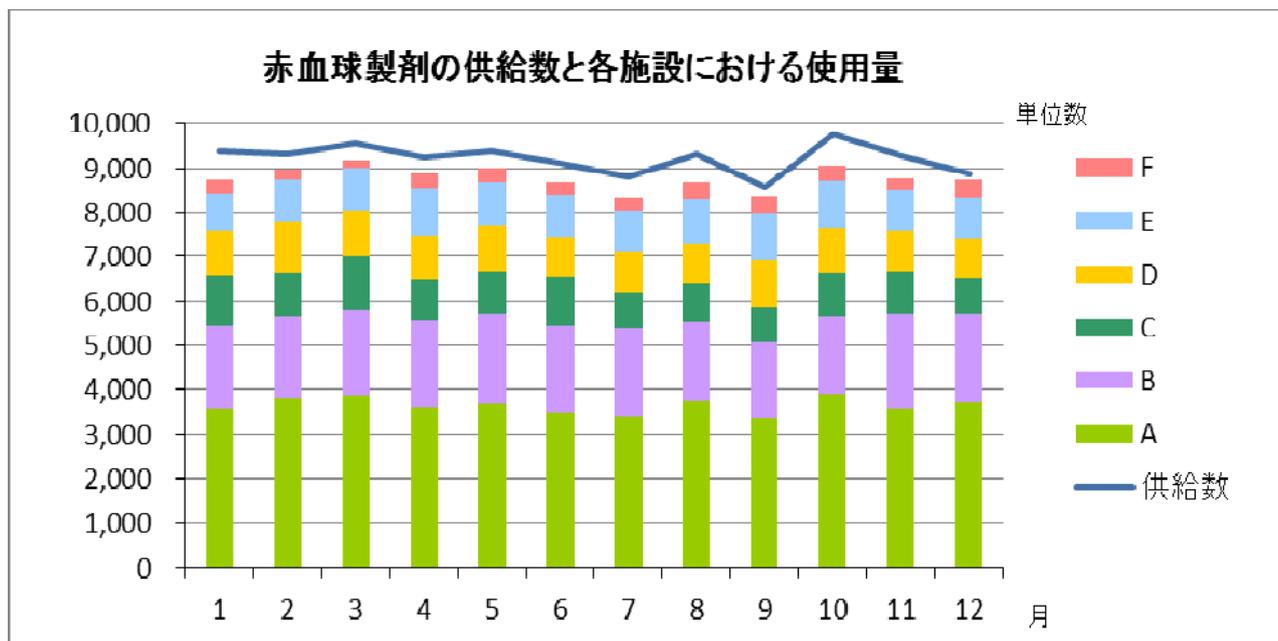
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	23	3,595
F	0～99床	31	1,646
計		82	15,720

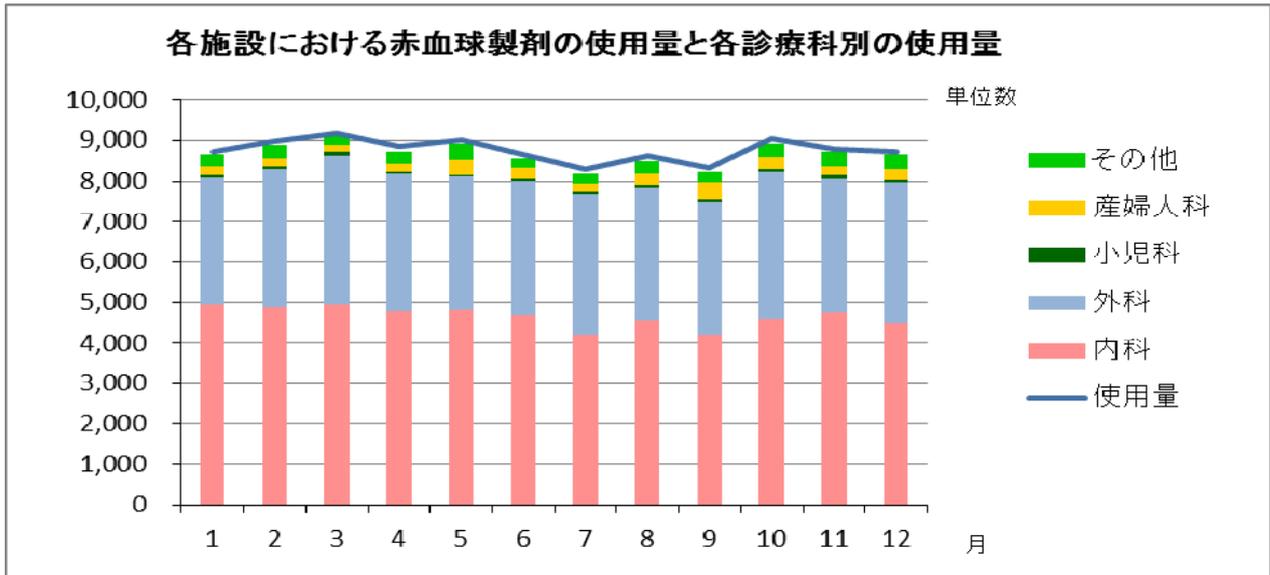
○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,730	1,713	1,446	69	230	272	3,730	100.0
B	1,984	974	982	0	26	2	1,984	100.0
C	806	535	247	0	16	8	806	100.0
D	868	379	434	1	4	50	868	100.0
E	932	597	272	0	6	14	889	95.4
F	401	295	104	0	0	2	401	100.0



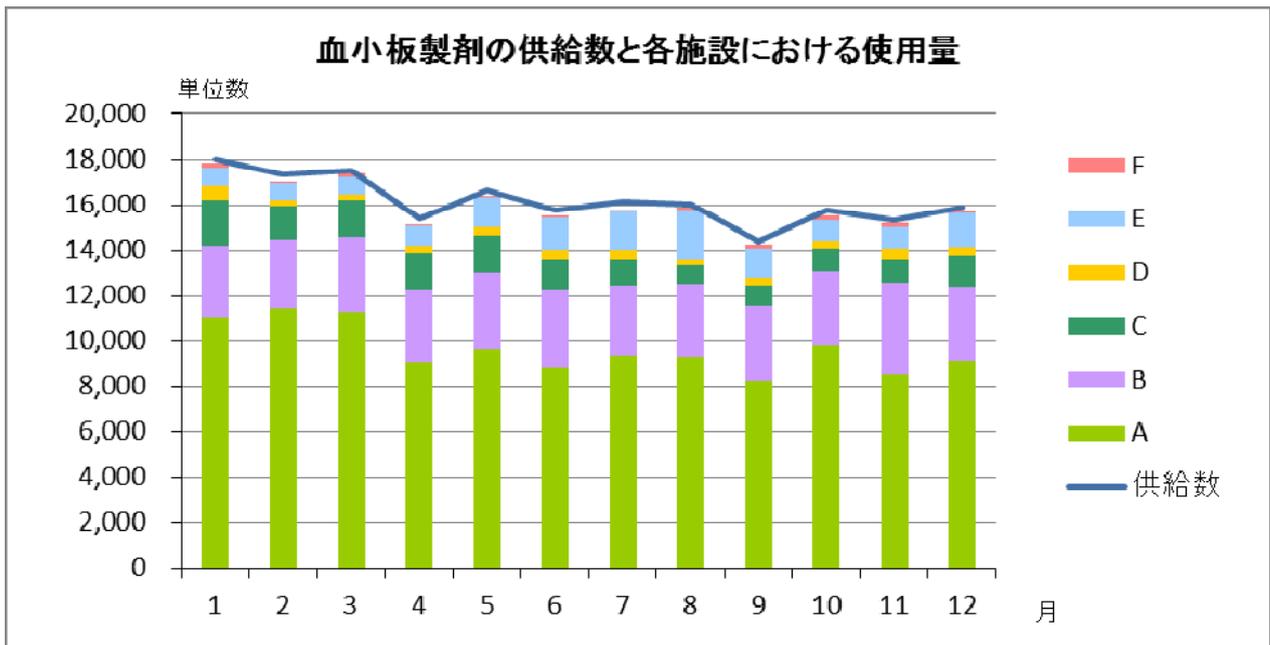


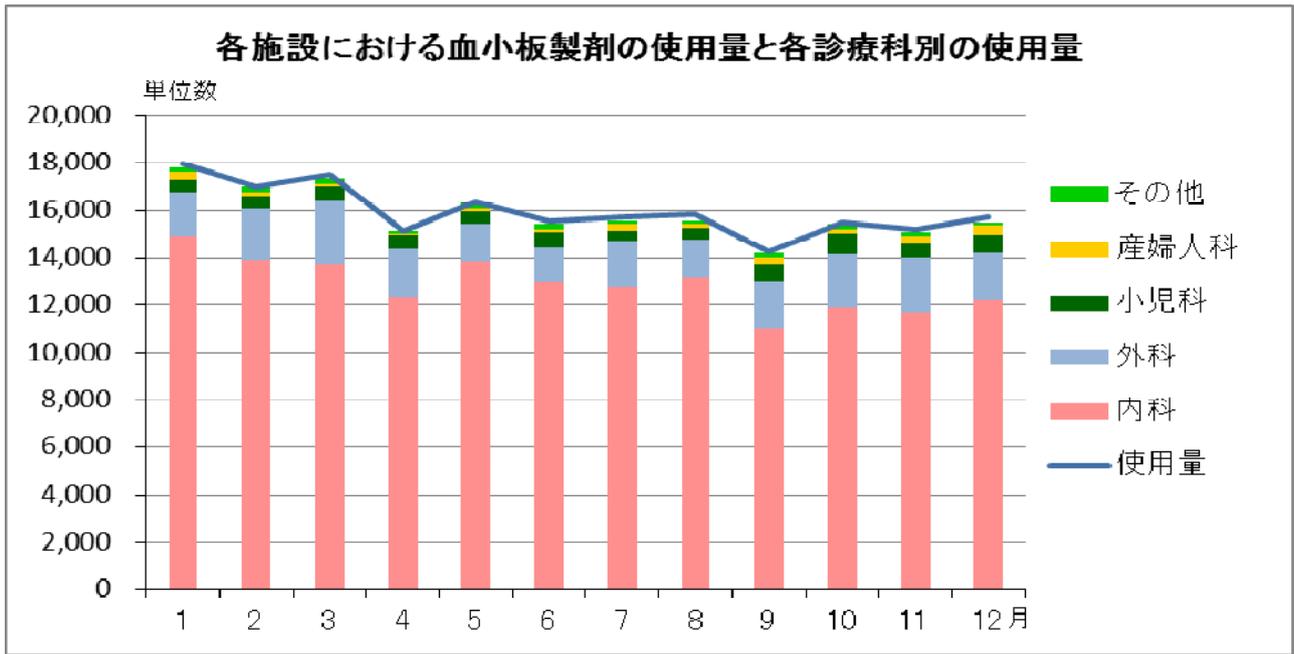
○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,135	7,045	935	770	270	115	9,135	100.0
B	3,275	2,565	710	0	0	0	3,275	100.0
C	1,355	1,110	95	0	150	0	1,355	100.0
D	335	195	140	0	0	0	335	100.0
E	1,525	1,250	60	0	0	0	1,310	85.9
F	70	70	0	0	0	0	70	100.0



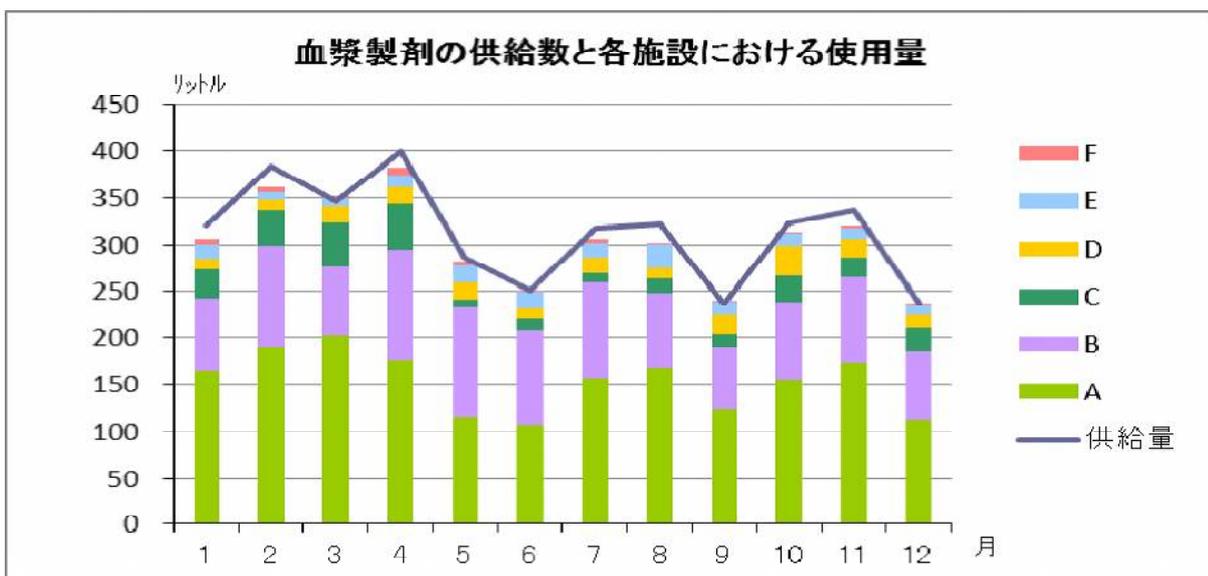


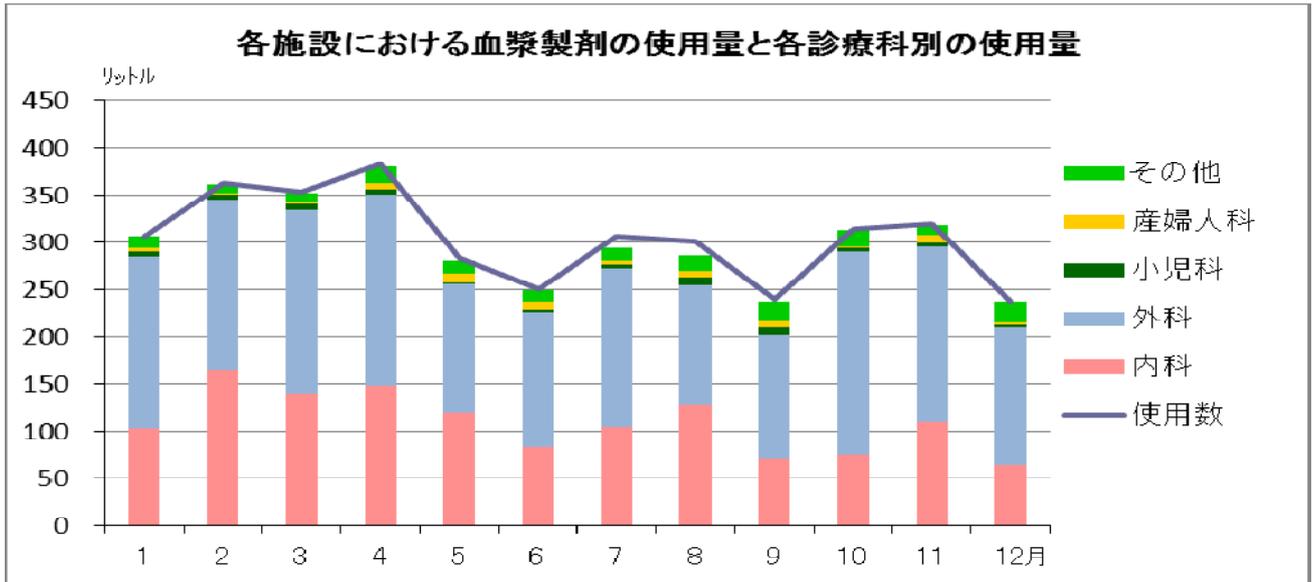
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	112.9	19.1	70.8	2.4	1.9	18.7	112.9	100.0
B	73.3	9.1	64.2	0.0	0.0	0.0	73.3	100.0
C	25.3	21.5	3.5	0.0	0.2	0.0	25.3	100.0
D	13.0	1.7	7.9	0.0	0.0	3.4	13.0	100.0
E	9.8	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	100.0
F	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	100.0



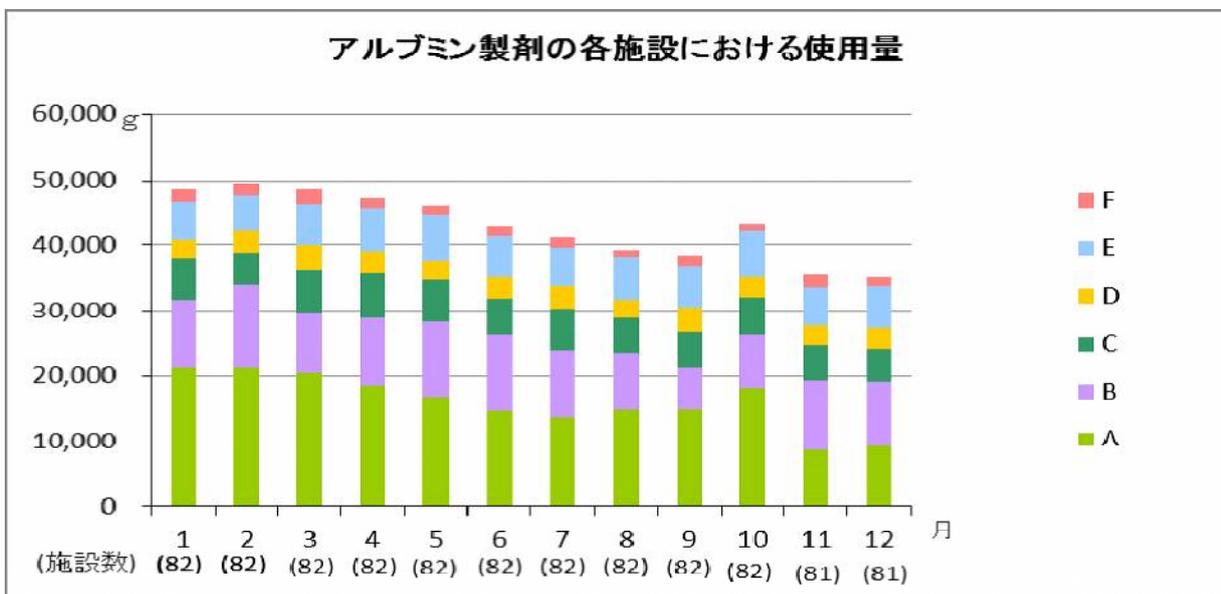


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- * () 内はアルブミン製剤を使用した施設数と、使用量の入力された施設数を表したものの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	9,290.0	2,347.5	4,055.0	75.0	400.0	0.0	6,877.5	74.0
B (5/5)	9,787.5	3,362.5	4,075.0	0.0	50.0	62.5	7,550.0	77.1
C (7/7)	5,162.5	3,887.5	1,275.0	0.0	0.0	0.0	5,162.5	100.0
D (10/10)	3,133.6	1,722.8	948.3	0.0	62.5	0.0	2,733.6	87.2
E (18/18)	6,366.0	1,948.0	1,285.5	0.0	0.0	140.0	3,373.5	53.0
F (10/10)	1,270.5	1,125.0	145.5	0.0	0.0	0.0	1,270.5	100.0



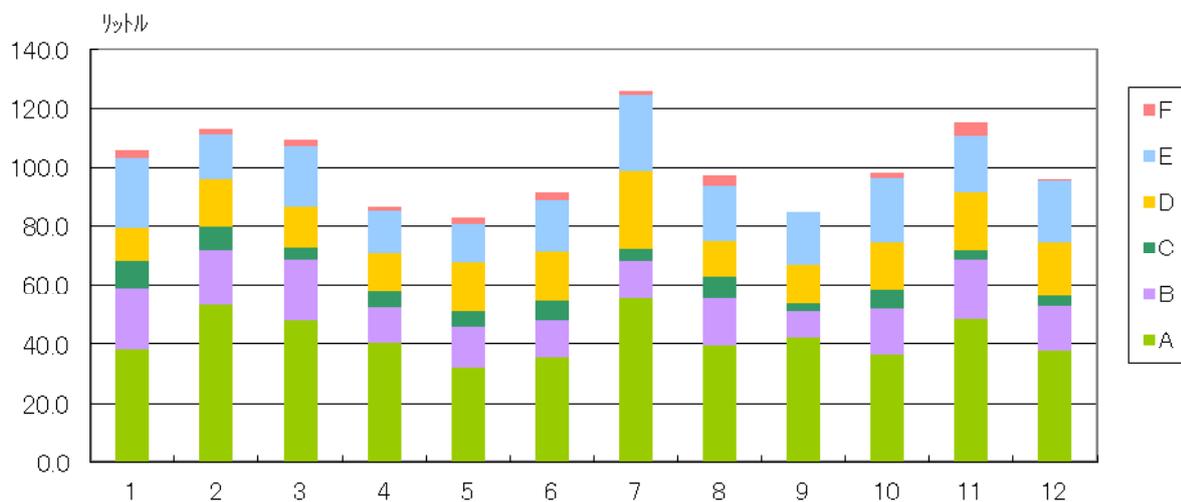
○自己血

自己血の使用量と各診療科別による使用量

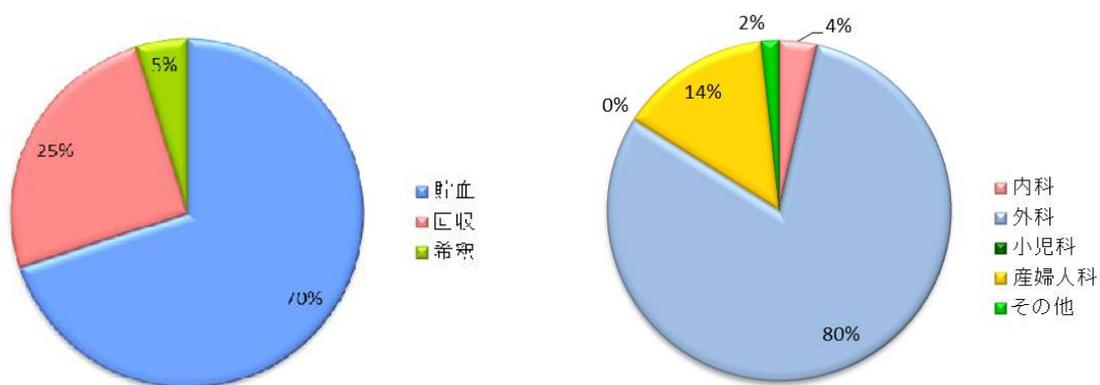
* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						計	全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他			
A	22.2	11.1	4.5	37.8	1.8	25.8	0.0	10.2	0.0	37.8	100.0	
B	9.5	5.5	0.0	15.0	1.6	11.1	0.0	2.3	0.0	15.0	100.0	
C	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	100.0	
D	10.4	7.6	0.0	18.0	0.0	16.4	0.0	0.0	1.6	18.0	100.0	
E	20.8	0.0	0.0	20.8	0.0	19.2	0.0	1.2	0.0	20.4	98.1	
F	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	100.0	
計	66.9	24.3	4.5	95.6	3.4	76.6	0.0	13.7	1.6	95.2	99.6	

自己血の各施設における使用量



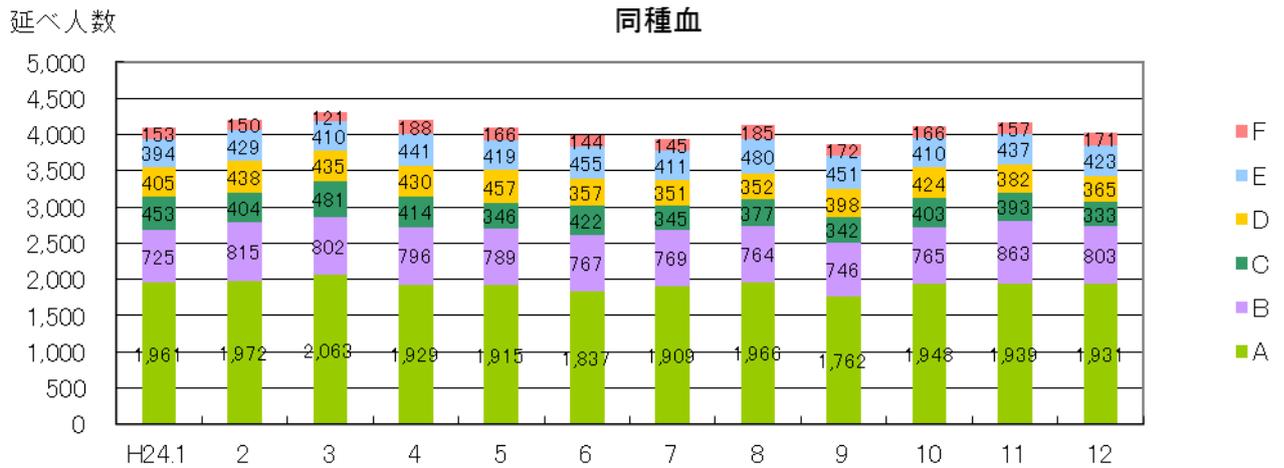
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

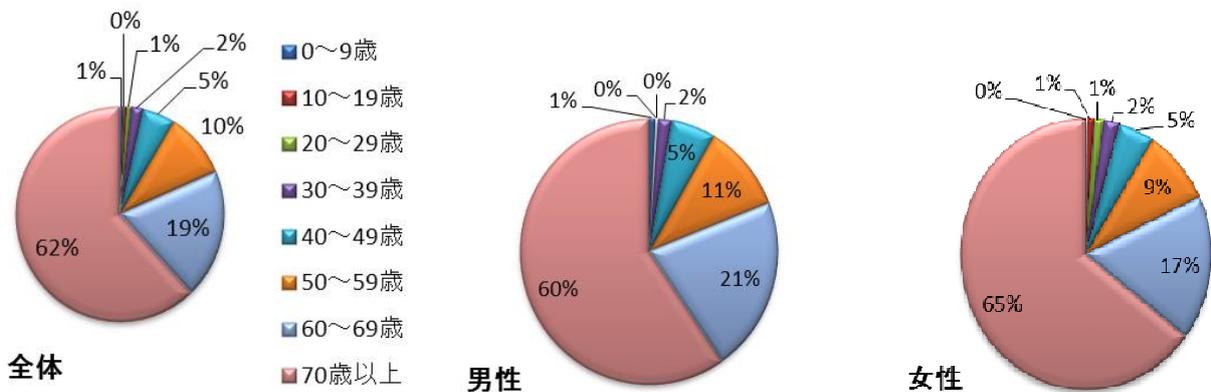
12月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,931	803	333	365	423	171	4,026
1床あたり	0.54	0.38	0.15	0.15	0.12	0.10	0.26
自己血	70	23	8	24	24	1	150
アルブミン	547	496	283	161	151	51	1,689

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

12月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	9	2	3	22	71	136	272	759	1,274
女	2	9	15	23	52	103	195	730	1,129
計	11	11	18	45	123	239	467	1,489	2,403

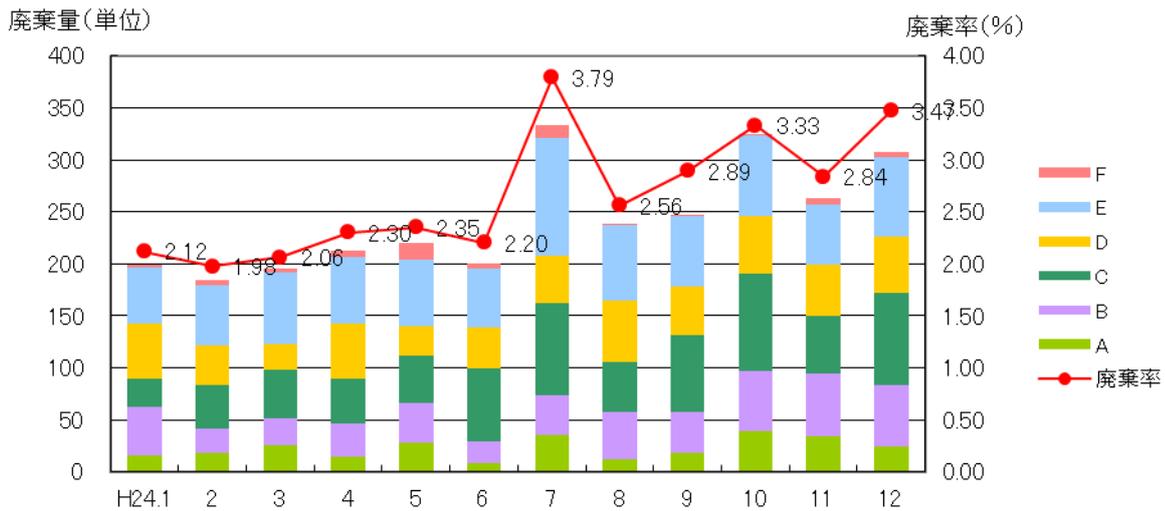


○血液製剤及び自己血の廃棄率

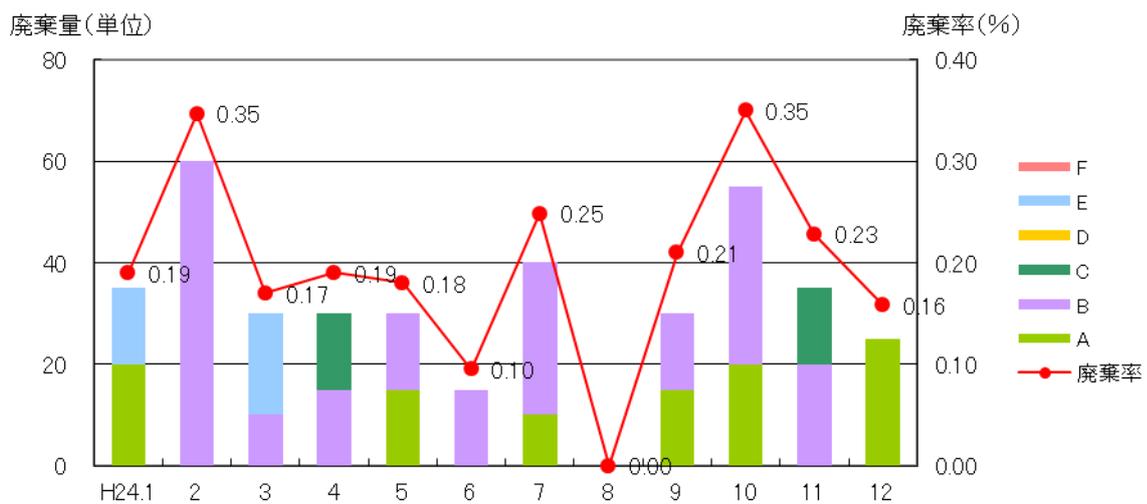
12月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	24	60	88	54	76	6	308
血小板製剤(単位)	25	0	0	0	0	0	25
血漿製剤(単位)	15.0	33.0	6.0	5.0	0.0	9.0	68.0
自己血(リットル)	4.3	0.8	1.0	0.0	1.2	0.4	7.7

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

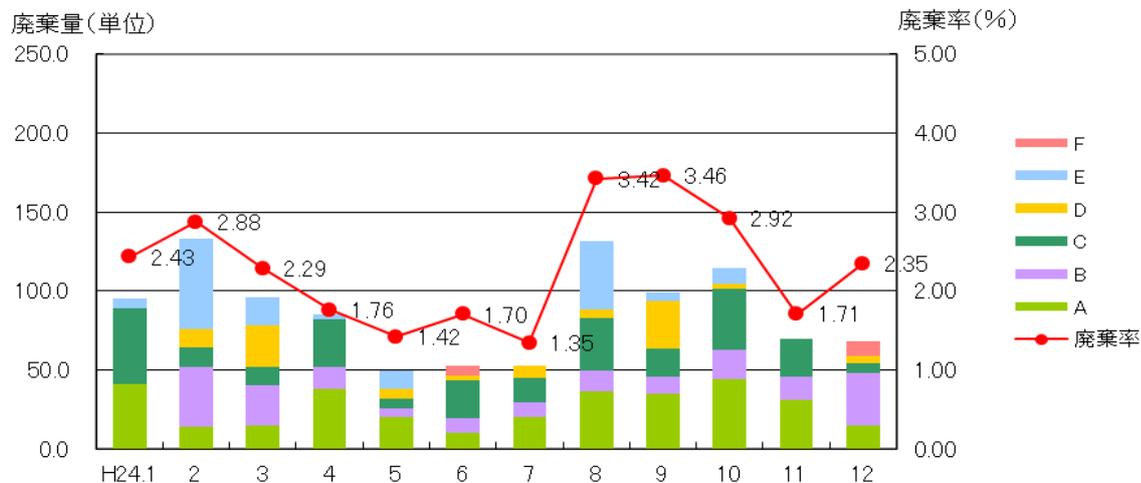
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

